**浄土宗開宗八百五十年慶讃法灯リレー法要表白**

**しくみるに、（）は、のとしてにしい、りをめよとののれがたく、にしてにり、してにみえり。**

**そのはにり、のれはにく、はのにとまれしも、をいにして、ひたすらのをめう。**

**にはにしてのえをうも、むるをることはわず、びにりて、ききにり、しみしみにかいえり。**

**かくしてをすること、とりわけのをくこと、に、のにり、にしてのをかし、のをきえり。**

**、のはにち、しくのをくることをたり。**

**、のをうるにたり、()のにいをせ、よりをき、のにぐ。って○○、にいんが、たにこのをけぎ、○○（○○）のにじて、のをし、せてにをめ、にせんことをいる。**

**ぎわくはのき、のく、のにまり、のにばんことを。**

**令和　 年　 月　 日**

**○譽○○　ってす**

※この表白は宗令「開宗八百五十年慶讃法要表白」を基にした文例です。趣旨に合わせて適宜変更の上ご使用ください。

※このまま読まれる場合は当該教区・寺院等で取捨選択してご使用ください。